

編集委員

委員長 町 泉寿郎

磯 水絵

高山 節也

田中 正樹

牧角 悦子

編集後記

本誌第十二号をお届けする。今回は論文四篇、研究ノート二篇、資料紹介一篇、書評一篇の計八篇を収載することができた。執筆いただいた各位、特に外部から投稿いただいた方々にお礼申し上げる。葛継勇氏は三回目の掲載、蔡毅氏は初めての投稿となる。

二一世紀COEプログラムの時代に比べると、やや収載数は減ったが、ポストCOEと位置づけて推進している本学SRF（私立大学戦略的研究基盤形成支援事業）「近代日本の「知」の形成と漢学」の研究支援者・研究員・助手ら若手研究者による研究成果を収載できていることは、本誌創刊以来の趣旨にもかない、喜ばしく思う。

書評にとりあげた Japanese Confucianism の著者キリ・パラモア氏（ライデン大学）もSRF事業の学外の事業推進担当者である。東アジア学術総合研究所日本漢文教育研究推進室とSRF事業が連携して、日本漢学研究の情報発信に努めて行く所存であるので、一層のご支援を賜りたい。

なお、今号の編集事務を担当していただいた、遠藤寛朗氏（東アジア学術総合研究所助手）にお礼申し上げます。

（町 泉寿郎）